

Vol. 71 2026

生活造形

SEIKATSU ZOKEI

京都女子大学 | 生活造形学科

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY, DEPARTMENT OF APPAREL AND SPACE DESIGN

生活造形

Vol.71 2026

京都女子大学

目 次

御退職特集

ご縁に感謝	青 木 美保子	1
未来をつくろうとする気持ち	前 崎 信 也	2
京都女子大学での3年間—教育・研究・学生との学び	江 端 木 環	3

学科だより

教職員の異動・学生の受賞報告		4
“TES” 認定おめでとう！	榎 本 雅 穂	10
令和6年度博士学位論文要旨		11
令和6年度修士学位論文要旨		18
令和6年度卒業論文題目		40
教育活動予算報告		45

ゼミ活動報告

Art Under the Shijyo ～今昔動物絵巻～	是 永 美 樹	46
ダンチとフクシのミライを考える ～8 大学連携プロジェクト 市営住宅空き住戸を「福祉職員住宅」に活用～	是 永 美 樹	48
第3回アダプティブファッションショー	長 渡 千 風・多 田 美 和・藤 井 ほの花 (青木研究室)	50
文化施設と協働したデザイン実践の報告 —京都市動物園をフィールドとしたPBLの取組—	生田目 美 紀	51
江口ゼミ活動報告	江 口 淑 子	52

総説

京都の映画文化・衣裳研究ノート	成 実 弘 至	54
-----------------------	---------	----

報文

デザイン発想時の助言内容とアイデアの質との関係	張 紫 薇 前 川 正 実	59
-------------------------------	------------------	----

Kyoto Women's University

Journal of Apparel and Space Design

Vol. 71

February 2026

Contents

The relationship between the content of advice and the quality of ideas during design ideation

Ziwei Zhang

Masami Maekawa..... 59

京都女子大学生生活造形学科「生活造形」投稿規定

2012. 7. 18 改定

2020. 1. 7 改定

1. 本誌は主として生活造形に関する総説、解説、文献紹介および報文、ノート、資料などを掲載する。なお原稿の分類は別表の通りとする。
2. 原則として、投稿者は筆頭著者あるいは共著者として生活造形学科専任教員を含むものとする。これ以外の場合は、専任教員の同意に加え、編集委員会の議を経るものとする。
3. 原稿掲載料は原則として無料とする。
4. 原稿の採否、修正、その他は編集委員会が決める。
5. 投稿原稿は、別途定める見本に従って割付けた A4 版カメラレディ原稿とし、Word 形式と PDF 形式の 2 種類のファイルを提出する。本文のフォントは、和文では、明朝体 10.5 ポイント、一行 23 文字×40 行の横 2 段組みとする。英文では Century 10.5 ポイントを用いる。
6. 報文の頭初には表題、著者名、所属機関を和文および英文で記載する。表題は、和文：明朝体 14 ポイント、英文：Century 11 ポイント、著者名と所属機関は、和文：明朝体 11 ポイント、英文：Century 11 ポイントとする。
7. 報文には、本文が和文の場合は英文要旨を、目的・方法・結果・考察を含めて、本文中の内容を理解できるように平易な文で簡潔に書く。フォントは Century 10.5 ポイントとし、長さは 150 語程度とする。本文が英文の場合は和文要旨を添える。フォントは明朝体 10.5 ポイントとし、長さは 400 文字程度とする。
8. 原稿の記載は次の形式による。
 - (1) 和文原稿では、原則として当用漢字・新かなづかいを用いる。
 - (2) 単位は原則として国際単位 (SI) 系とする (JISZ8203 参照)。
 - (3) 参考文献・引用文献の書き方は下記を参考とする。
 - (和文雑誌) 著者名, 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)
 - (欧文雑誌) 著者名, 論文タイトル, 雑誌名, 巻, 号, ページ (発行年)
 - (単行本) 著者名, 書名, 発行元, ページ (発行年)
- (例)
 - 1) 田村奈巳, 酒井哲也, 酒井豊子. 論文タイトル, 家政誌, 50, pp. 331-336 (1995)
 - 2) R. J. Pace, A. Datyner. Title, Text, Res. J.; 50, p. 34 (1980)
 - 3) T. Vickerstaff. "The Physical Chemistry of Dyeing", Oliver & Boyd CO., p.43 (1954)
 - 4) 江馬務. 「江馬務著作集第六巻」, 中央公論社, 東京, p.19 (1977)
9. 図表の記載は次の形式による。

各図 (写真も含む)、表には図 4、表 3 のように表記し、簡単な表題をつけること。原稿には、図表の挿入箇所に関する指示を明示すること。
10. 校正は二校までは著者が行う。
11. 別刷は 20 部までは贈呈するので、希望者は二校時までに希望部数を届け出ること。
12. 投稿原稿データは E メール添付あるいは CD などの媒体へ記録し、編集委員へ送付する。

種類	内 容	最大頁数
a. 総 説	一つの主題についての総合的な論説や記事で、提案、批評などを含むもの	8
b. 解 説	研究、技術、社会情勢などに関する平易な解説	8
c. 文 献 紹 介	国内、国外の研究論文、書籍などの紹介	4
d. 博士論文要旨	前年度の博士論文の要旨	6
e. 修士論文要旨	前年度の修士論文の要旨	6
f. そ の 他	教職員の研究活動などに関する報告記事、会社・研究所などの見学記および学会行事などに関する報告など	4
g. 報 文	生活造形に関係のある研究で、新しい価値のある結論あるいは事実を含むと認められるもので、本誌に掲載される前に他の学術誌に投稿あるいは掲載されていないものに限る	8
h. ノ ー ト	原著論文であるが、論文としては十分な結論を得るに至っていないもの	8
i. 資 料	研究の資料として価値あるもので、上記の論文、ノートのいずれにも属さないもの	4

編 集：生活造形編集委員会

二瓶 晃（委員長）・榎本 雅穂・鶴岡 典慶・生田目美紀

表紙デザイン：二瓶 晃

編集後記：

世界情勢は不安定さを増し、社会課題もますます複雑化しています。こうした時代の変化の中で、生活造形学科にはどのような研究・制作が求められるのでしょうか。本号では、論文やデザイン活動を通じて受賞・資格合格などの成果を挙げた学生による優れた研究の報告をはじめ、博士・修士論文の要旨および卒業論文の題目を掲載し、日々の研究成果を紹介しています。さらに、ゼミ活動報告では、学内での研究・制作にとどまらず、社会との連携や協働を目指した実践的な取り組みも取り上げました。これらは、社会の課題にどのように応えていくのか、その答えの一端を示すものといえるでしょう。

最後に、「生活造形」71号の制作にご尽力いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

A.N

京都女子大学生生活造形 vol.71

令和8年2月19日 印刷

令和8年2月28日 発行

（会員頒布非売品）

発 行 者 生田目 美紀

発 行 所 京都女子大学生生活造形学科

605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35

TEL 075-531-9018

印 刷 所 (株)北斗プリント社

京都市左京区下鴨高木町 38-2

TEL 075-791-6125
